



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net

勉強会「ん？そこが知りたい 聞きたい、うちの子の進路」開催



8月3日(土)、「中学卒業後の進路先となる高等学校ではどんな援助があるのだろうか」という問いに答える勉強会を開催しました。私たちの呼びかけに、クラーク記念国際高等学校、第一学院高等学校、栃木県立学悠館高等学校、日々輝学園高等学校がパネラーとして参加。さまざまな立場からお集まりいただいた40名をこえるみなさまの協力で、会を成功させることができました。ありがとうございました。(2面に下野新聞記事を転載しました)

開催には、(株)花王 ハートポケット倶楽部助成金を使わせていただきました。記して感謝いたします。(栗原)

アンケート結果 19名の方から回答をいただきました。

保護者:10名/教育関係者:2名/福祉関係者:3名

他:4名(学童保育指導員、中学生など)

1. 勉強会を何で知りましたか

知人・友人:6名/チラシ:5名/新聞:3名/他:5名

2. 印象に残った点や感想など:()所属

とても参考になった(保) ▼不登校気味で進学してもこの先無理ではと思っていた。フリースクールは知っていたが、パンフレットだけでは理解が難しかったため、実際に現場の先生方の話が聞けて、中学卒業後の進路に希望が持てた。各学校の比較もでき、勉強になった(保) ▼学校によって、印象の良い学校とそうでない学校がある。他校の話聞けない学校は生徒の話も聞いてくれなさそう(保) ▼各校の特徴が比較でき、選択の参考になった。どの先生方も熱心で、とても希望が持てた(保) ▼義務教育の9年間は個別に指導してもらえらるが、高校への不安があった。今日の話聞いて、いろいろな配慮があるよう

で、少し安心した。学校によって特性が様々のようなので、子どもにあった場所をゆっくり探せるといいのかなと思う。情報収集ができ参考になった(保) ▼各校の特色を伺い、参考になった(保) ▼学悠館高校とクラーク高校の話が印象に残った(中学生) ▼学悠館は自分が中学生だったら行きたかった(他) ▼とくに資料に発達障がいについて書いてあってよかったです。置いてあった月森久江「発達障がいがある子ども・・・」を読んでみようと思った(教) ▼短い時間の中で詳しい内容までは聞けなかったが、後半の質問形式の話し合いでは、現実的な内容もあり、参考になった(教) ▼各校の特色がよくわかった。実際の先生の話聞く良い機会だった。自分の子どもの時は自力で駆け回らなければならず、大変な思いをした。すばらしい企画でした(福) ▼4つの学校の特徴がわかった。家族の生の声を聞くことができよかったです。高卒認定試験など参考になった(福)

3. 今後、勉強会でどのような話を期待しますか

発達障がいについて(教) ▼全日制の県立高校で、発達障がいの生徒をサポートしている学校の実践例や校内体制がしっかりしていて支援がうまくいっている実践例など(教) ▼実際に高校に入れた親御さんや卒業生の話や体験談が聞きたい。25~30歳のお子さんの今、過去の体験集があつたらよいですね。(福) ▼もっと学校内での具体的な行動(発達障がい児・者等)とその支援方法を聞きたい(福) ▼就労と通信制高校が両立できるのか。(保) ▼「3年後」のビジョンについて(保) ▼大人の発達障がいについて。どういうところで就労しているのか、体験談など(保) (アンケートまとめ:白井)

目次

進路勉強会開催	1
下野新聞・勉強会記事	2
川むしたんけん隊@猪倉	2
相談支援初任者研修	3
活動日誌	3
クローズアップ・日光人	4

居場所のひとこま

10月の「つくって食べよう！」は、コーヒーゼリーづくりでした。といっても、コーヒーにゼラチンを混ぜるだけという超簡単メニュー。さすがにコーヒーだけではあきってしまうので自動販売機のジュースや、かき氷のシロップ、紅茶、など、いろいろゼリーにして楽しみました。(N)



須岡山 0287(80)1023
局 FAX(80)1024

県北・日光版



高校のサポート体制などを保護者らに学んでもらおうと、同法人が県内の各高校に協力を要請。日々輝学園高(塩谷町)、第一学院高(宇都宮キャンパス、クラーク記念国際高等学校)と、県立学悠館高3校と、都営キャンパスの私立3校と、(栃木市)の各担当者が出席した。勉強会には保護者や小学校教諭ら約40人が

保護者、教諭ら参加

日光で進路勉強会

【日光】不登校や発達障害のある中学生らの進路を考える勉強会「ん? そこが知りたい、聞きたい、うちの子の進路」が3日、大沢公民館で開かれた。発達障害のある生徒らを受け入れている県内の通信制や定時制の公私立4校の担当者が出席し、「生徒の特性を理解し授業の中で個別に対応している」などと説明した。主催した今市のNPO法人「なんとなくのひろば」(手塚郁夫理事長)によると、こうした試みは県内で初めてという。

「特性理解 個別に対応」 県内4高校担当者が説明

参加。各校の担当者は半数は特別支援学級「学びにくさや人間関係のつくりにくさのある生徒一人一人と向き合っている」「中学校から新規に入った生徒も行われ、発達障害の



発達障害 自閉症や学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)など先天的な脳機能障害

の総称。自閉症のうち、知能や言葉に遅れがないケースはアスペルガー症候群とされる。苦手がある平面、特定の分野で高い能力を発揮することもある。教諭は生徒の特性を共有・理解して「など」と答えた。

ある生徒への配慮について各担当者は「特別支援はないが、授業の中で個別に対応している」「45分間じっと座ってられない生徒もいる。教諭は生徒の特性を共有・理解して情報を得られてよかった」と話していた。



発達障害のある中学生らの進路について考えた勉強会



川むしたんけん隊・データ

- 気温 16℃
- 水温 15℃
- 天気 曇り
- 指標生物
 - 水質階級Ⅰ
サワガニ、ヘビトンボ
 - 水質階級Ⅱ
カワナナ
 - 水質階級Ⅲ、水質階級Ⅳ なし
 - 指標以外の水生昆虫
モンカゲロウ(幼虫)
オニヤンマ(ヤゴ)
サナエトンボ(ヤゴ)
ヤンマ科トンボ(ヤゴ)
ミスアブ
- その他の生きもの
ドジョウ、ニホンアカガエル
シュレーグルアオガエル

サワガニが非常に多く見られ、幼体から成体まで大きさをよく観察できた。サワガニ・ヘビトンボが見つかったことは水質がきれいということ。ドジョウは水路を利用して田圃と水源地を行き来していたと想像できる。昭和30年代まで水田面積拡張の時期だったので、水の確保という点で湧水も貴重な水源だったと思われ、その名残が今回の場所になかったのではないのでしょうか。子ども達のおかげで予想以上の生きものが見つかりました。感謝です。(塚崎)

川むしたんけん隊@猪倉 10月19日(土) 猪倉の湧水地

秋の「川むしたんけん」は、地下水がわき出し小川ができる場所で行いました。「今市の水を守る市民の会」塚崎さんの案内で、まず湧水を見学。川のはじまった所からほんの100メートルくらい下流へと雑木林を歩き、生き物探しをしました(右上写真)。「いのくら児童クラブ」の子どもたちも参加。にぎやかな集まりになりました。右欄は今回みつけた生き物のまとめです。



塚崎さん作、「春の小川」 秋バージョン

秋の小川もさらさらいくよ
岸の草には蛙がいるよ
サワガニ・ヤゴ達・ヘビトンボにドジョウ
春が来るのをみんなで待つよ

☆ 活動日誌

- 7月 3日 (水) 理事会 (第53回)
 7月 8日 (月) 茶話会 (第41回)
 7月17日 (水) つくって食べよう (桃シャーベット)
 7月19日 (金) 通信・なんとなくのひろば (第32号) 発行
 7月20日 (土) 日々輝学園・学校説明会
 7月22日 (月) 法務局登記 (理事長退任・選任) 手続き完了
 7月27日 (土) クラーク学院・1日体験
 7月27日 (土) ~8月2日 (金) 鬼怒川温泉あさや・サイエンスパーク
 7月27日 (土) ワカモノフェスタ実行委員会
 7月28日 (日) 日光JC・元気アップ (だいや川公園) 参加
 7月28日 (日) ベリー会: 月例会
 8月 3日 (土) 勉強会「ん? そこが知りたい聞きたい、うちの子の進路」
 8月12日 (月) 茶話会 (第42回 バーベキュー)
 8月24日 (土) ワカモノフェスタ実行委員会
 8月25日 (日) ベリー会: 月例会
 9月 7日 (土) ボランティアフェスタ参加 (中央公民館中ホール展示)
 9月 7日 (土) 発達障害セミナー (ふおーゆう)
 「発達障害のある人へのライフステージを通じた支援
 (高校から大学、そして就労へ向けて)」
 9月 9日 (月) 茶話会 (第43回)
 9月11日 (水) 理事会 (第54回)
 9月15日 (日) ベリー会: 講演会
 9月18日 (水) つくって食べよう (ホットケーキ)
 9月26~27日 栃木県相談支援従事者初任者研修 (西尾)
 9月28日 (土) ワカモノフェスタ実行委員会
 10月19日 (土) 川むしたんけん隊 (サイエンス・カフェ)
 10月13日 (日) ベリー会: 月例会
 10月14日 (月) ワカモノフェスタ実行委員会
 10月17~19日 栃木県相談支援従事者初任者研修 (西尾)
 10月23日 (水) つくって食べよう (コーヒーゼリー)
 10月25日 (金) 日光市生活福祉課・障がい福祉課との打ち合わせ
 10月26日 (土) ワカモノフェスタ実行委員会
 11月 9日 (土) クラーク祭り参加 (2名)
 11月 9日 (土) ワカモノフェスタ実行委員会
 11月 9日 (土) ~10日 (日) フードバンクチャリティーウォーク
 (完歩: 吉成、まかない・配膳ボラ: 栗原2名)
 11月11日 (月) 茶話会 (第44回)



日光JC・元気アップ(だいや川公園)
紙ブーメラン・紙トンボ作成で参加しました。
子どもたちが次々に来てくれて、午前中に100セットがなくなる勢い。とても忙しい一日でした。



ボランティアフェスタ
今回は、本会理事の吉成勇一さんが実行委員長をつとめました。斉藤市長を案内して、なんにわブースに立ち寄ったところです。



ボランティアフェスタ
ステージでは「なんにわ」に集う中学生が司会やサポートをつとめました。にっこう仮面と記念写真。

「相談支援従事者初任者研修」に参加して

福祉の現場で当事者と直接かかわっている人が集まり、先輩達が計画した研修を五日間受けてきました。

研修の内容はとても充実していて、講義あり、体験談あり、実習や発表もたくさんあって刺激を受けました。自分の経験したことがこういう位置づけなのかと確認できたり、改善した方がいいところなどが見つかりました。

実習で私が参加したグループは、子どもの支援として発達相談を受けている方々が多かったのですが、普段から子どもと保護者両方に心配りをして相談を受けていらっしゃる様子を伺い、自分自身がとても暖かい気持ちになりました。研修の概要は以下のとおりです。(西尾)

【9月26~27日】 障害者総合支援法の概要／相談支援における権利擁護と虐待防止／障害児者の地域生活支援／ケアマネジメント(概論)／相談支援の基本姿勢／障害者総合支援法等における計画作成とサービス提供のプロセス

【10月17~19日】 ケアマネジメントの展開／サービス担当者会議／ケアマネジメントプロセスの実践／サービス等利用計画について／演習まとめ／自立支援協議会と社会資源開発／私が考える相談支援とは

子育て・親育ちの茶話会

場所: 子どもの居場所 (日光市平ヶ崎)

日時: 毎月第2月曜日(午前10時~12時)

参加費: 300円(お茶代)

次回の日程はお問い合わせ下さい。

同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合いたいしょう。「一人で悩まず、みんなで!」を合い言葉に。(090-3227-7079)

特定非営利活動法人 なんとなくのになわ 通信

〒321-1261 栃木県日光市今市378
電話 090-3227-7079 / Fax 0288-21-2631
E-mail: info@nantonakuno.net
ホームページをご覧ください。
http://www.nantonakuno.net/



日光市で活躍している人、サークルを紹介します

クローズアップ 日光人



NPO法人なんとなくのになわ

活動日時 毎週月～金曜日
(午後0時30分～4時30分)
活動場所 平ヶ崎地区の民家
会員数 一般会員46名、賛助会員18名、
団体会員4名
代表者 手塚郁夫
問い合わせ先 ☎090-3227-7079
ホームページ http://www.nantonakuno.net/

平成16年に設立されたNPO法人なんとなくのになわは、不登校の子どもたちの居場所づくりや、学びの場づくりの活動をしている団体です。
団体の立ち上げに関わった女性スタッフには、当時小学校6年生の不登校のお子さんがいました。「学校に行くことを強制せず、別な形の学びの場を地元につくら」との思いから、賛助者が集まり、話し合いを重ね、活動を開始したそうです。平成25年度からは、子どもの居場所事業を市の事業に転換し、委託の形で活動を展開しています。
団体の名称、「なんとなくのになわ」

「わ」は、開設当時の利用者が考えたこと。なんとなくみんなが集まれる場所、安心できる居場所の意味が込められています。子どもたちの居場所事業の活動拠点には、平ヶ崎地区にある大きな民家が利用されています。スタッフの中には、不登校経験を持つ方やその家族の方もいるため、不登校の子どもたちの気持ちに寄り添い、共に考えることができるといいます。若いスタッフも多く、利用者と一緒にスポーツや活動などをする中で次第に心の距離を縮めていくそうです。スタッフは楽器演奏やマンガ、工作など、それぞれ得意分野を持っており、和気あいあいとした雰囲気です。利用者との活動を楽しくしています。学習については、利用者の希望に応じて勉強を教え、学校での授業に対応しています。



活動の様子

私たちの活動目的：

日光市とその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して、学習や自立のための支援活動と地域への啓発活動を行い、社会に出た後も継続性のある、支援と学びの場を作り出します。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、自然環境保全の大切さを啓発する活動
- ⑦ 障がいの理解および啓発に関する企画運営事業

日光市広報に掲載されました。(2013年8月)

<http://www.city.nikko.lg.jp/hisho/gyousei/kouhou/12/documents/201308p020-021.pdf>

会員について

正会員：47
賛助会員：18
団体会員：4
入会金はありません。
年会費(一口)

正会員 3,000円
賛助会員 個人 5,000円、団体 10,000円

私たちの活動は会費と寄付金でまかなわれています。会員を継続し、応援よろしく願います。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。皆様の積極的な参加をお願いいたします。



紹介したい人、サークルを募集しています！

クローズアップ日光人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありません。ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。
※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。
連絡先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎215135

また、不登校の一つの理由として発達障がいがあることから、発達障がいを持つ子の親を対象にした勉強会や悩み相談、情報交換会なども定期的に開催しています。この他にも、定期的に「サイエンスカフェ」を開催し、昆虫や星の話など、科学の知識を楽しく教える活動なども行っています。
「短い時間でもいいので、気軽に相談しに来て欲しい」とスタッフの一人は話します。なんとなくのになわは、学校以外の学びの場として、悩みを抱えたままどこにも相談できない子どもや親たちを温かく受け入れています。

なんとなくのへや

思い込みは禁物。「次の通信は11月」と自分の中で決めていて、ふと、月を数えたら、10月に発行すべきだったと気づいたのは11月はじめ…。ひと月遅れの「ひろば33号」になってしまいました。たいへん申し訳ありません■9月4日、日光市立第3小学校の全校集会「道徳ほかほかタイム」で15分間お話しする機会をいただきました。何をテーマにしようか迷った末、昔から付き合ってきたコンピュータについて話すことにしました。いろんなことに使われるようになったけれど、内部では発明されたときと変わらない「計算」であること、いっぽうで、私が小中学生だった50年前には想像もできなかった「ソフトウェアを作る」という仕事が出現し、今ではたくさんの方が働いているというように話をしました■雨天のため、学校のスタジオでビデオカメラに向かい、子どもたちは教室で視聴というスタイルとなり、うまく伝わったかどうか不安。後日、担当の先生からいただいた子どもたちの感想を読んで、興味を持って聞いてくれたことがわかり、とてもうれしく思いました。なかでも「コンピュータがむかしなかったなんて、しりませんでした」という感想には、はっとさせられました。いまだきの小学生、コンピュータやネットワークは、すでに「環境」になっているのですね■「こんな本はいかが」はお休みしました。次回は1月末から2月始めころの発行をめざします。掲載情報、原稿などお寄せください。来る2014年も「なんにわ」をよろしく願います。(T)